

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【「言葉」を問う問題】

1 次の文の主語には _____ を、述語には _____ を引きましよう。 **レベル7**

(1) 黄色い 花が さいている。

(2) ゆうとさんが 重い 荷物を 持った。

(3) きのう 母から もらった チョコレートは とても おいしい。

主語は「だれが（は）」に当たる言葉です。
述語は「どうする」「どんなだ」「何だ」
「ある・いる・いない」に当たる言葉です。

2 次の1～4の言葉を国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましよう。 **レベル7**

(1) 1 いちご

2 イチジク

3 イタチ

4 イチョウ

3

1

2

4

(2) 1 ボール

2 プール

3 ポール

4 ホール

2

4

1

3

辞典には
①「は・ひ」
②「ば・び」
③「ぱ・ぴ」
の順で出てき
ます。

3 次の文の _____ 線部がくわしくしている言葉を1～3の中からそれぞれ一つえらんで
番号を書きましよう。 **レベル7**

(1) 大きな犬が庭を走っている。

1 犬が

2 庭を

3 走っている

1

(2) 柱にかかっている白い時計は少しお供れている。

1 白い

2 時計は

3 お供れている

2

「どんな」「どのくらい」のように
他の言葉や文の意味を
くわしくする言葉を
「修飾語」といいます。

復習シート 第四学年 国語

【「言葉」を問う問題】

4 ローマの正しい書き表し方を1〜3の中から一つ選びましょう。
レベル5

- 1 スキップ
s u k k i p u
- 2 ノート
n o u t o
- 3 でんしゃ
d e n s y a

3

のばす音は、a・i・u・
e・oの上に「^」をつけて
書き表します。

5 次の文の _____ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものを1〜4の中から
それぞれ一つ選びましょう。
レベル6

(1) 四年生の教室は、校しゃの三カ**い**にある。

- 1 回
- 2 会
- 3 貝
- 4 階

4

(2) 自ド**ウ**車**が**走っている。

- 1 道
- 2 動
- 3 童
- 4 同

同じ発音の言
葉でも、意味
がちがえば、
使われる漢字
がちがってき
ます。

2

6 次の _____ の漢字の読みがなを (_____) に書き、「音読み」の場合は1、

「訓読み」の場合は2をそれぞれ選びましょう。

レベル7

(1) 羊毛**で**できた服

- (**もう**) 1 音読み
- (**くん**) 2 訓読み

1

(2) 毛糸**で**マフラーをあむ

- (**け**) 1 音読み
- (**くん**) 2 訓読み

2

復習シート 第四学年 国語

組

番号

名前

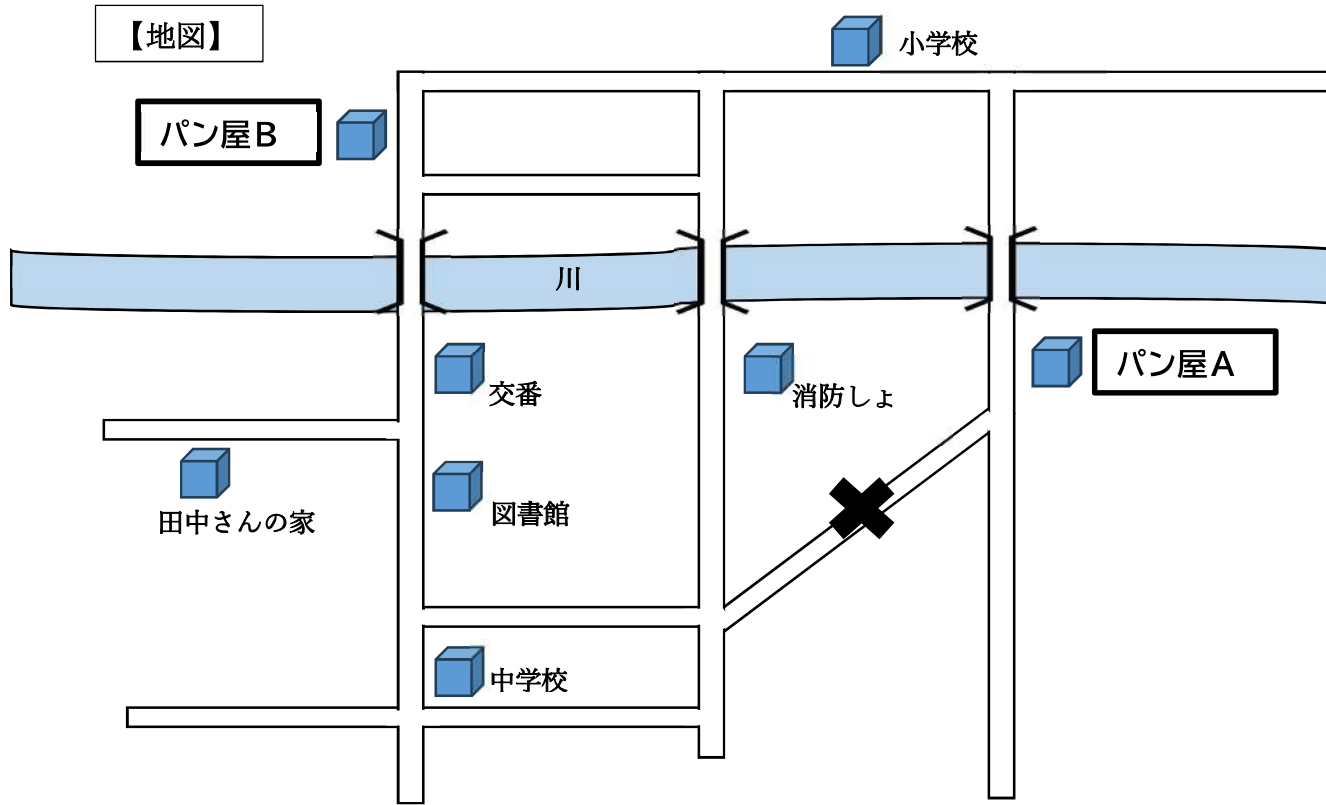
模範解答



【話すこと・聞くこと】を問う問題

1 田中さんは、おうちの人からおつかいをたのまれました。

【おつかいの内容】と【地図】を見て、次の問いに答えましょう。



【おつかいの内容】

- ・ 図書館で本を返す。
- ・ パン屋さんでパンを買う。
- ・ 図書館に先に行き、その後にパン屋さんによって帰ってくる。

(1) おうちの人は田中さんに、【おつかいの道じゅん】を次のように伝えました。【おつかいの道じゅん】の説明が正しくなるように、空らん①～⑤に当てはまる内容を、【せんとくし】ア～オの中から一つずつえらび、記号で答えましょう。

レベル7

【おつかいの道じゅん】

おつかいの道じゅんを説明するから、よく聞いてね。家を出たら右に進んで、つきあたりを右に曲がってね。

①

②

進んでいくとななめに進む道が正面に出てくるよ。

③

④

⑤

すると、すぐに左にパン屋さんがあるよ。パンさんは二つあるけど、まちがえないように気をつけてね。きちんと本を返して、おいしいパンを買ってきてね。

【せんとくし】

ア すると、すぐ左に図書館があるから、そこで本を返してね。
 イ そのまままっすぐ進んで、消防しょの先にある橋を渡った先のつきあたりで右に曲がるよ。
 ウ 少し進んで、小学校をすぎたらすぐに右へ曲がってもう一度橋をわたってね。
 エ この道を通ると近道なんだけど、今日は工事中で通れないからななめの道に入る前に、左に曲がってね。
 オ 図書館を出たら左に進んで、一つ目の曲がり角を曲がってまっすぐ進んでね。

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

(2) おうちの人が田中さんに伝えたパン屋さんは、【地図】の中のAとBのどちらですか。記号で答えましょう。

レベル6

自分が本当に歩いたとき、自分の正面はどこを向いているか考えよう。また、地図上の建物がせんとくしの中に出てきていないかな。





正答の条件

- ① 調べたいこん虫の名前を三つの中から一つ選んでいる。
- ② ①で選んだこん虫について、調べたい理由を「かんさつカード」に書かれたことと関連付けながら、十五字以上四十字以内で書いている。

に	い	た	わ
な	と	い	た
っ	高	の	し
た	く	は	が
か	と	、	ト
ら	べ	な	ン
で	る	ぜ	ボ
す	の	す	を
。	か	い	調
	気	す	べ

(三十九字)

【トンボの解答例】

	か	ジ	バ
	っ	ヤ	ツ
	こ	ン	タ
	い	プ	の
	い	す	足
	か	る	は
	ら	と	大
	。	こ	き
		ろ	く
		が	て

(二十八字)

【バッタの解答例】

	で	き	チ
	す	れ	ヨ
	。	い	ウ
		だ	の
		か	羽
		ら	の
		調	も
		べ	よ
		た	う
		い	が

(二十三字)

【チョウの解答例】

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

みちこさんが、小鳥屋のまえまでくると、知らないおばさんが、うばぐるまのなかの荷物をなおしていました。あかちゃんがついて、かきまわしたのです。

あかちゃんは、ぶうぶういいながら、かあちゃんのじゃましていました。

みちこさんは、おばさんのそばによって、
「あかちゃんだいてあげましょうか。」
といました。

「ええありがとう、でもおいたぼうで、とつてもおもいのよ。」

「いいおばさん。」

「すみませんね。」

おばさんはあかちゃんをみちこさんにだっこさせてくれました。みちこさんのうでに、おちちくさい、白いパジャマのかわいらしいあかちゃんが、だかれました。

みちこさんは、

「ちゅちゅつ、ほらほら。」

と小鳥を見せてやりました。

けれど、あかちゃんは、小鳥を見ないで、みちこさんの顔を見てにっこりわらいました。それから、おつてでみちこさんのネクタイをつかみました。みちこさんは、かわいい手だなと思いました。

そのうちにおばさんはすっかりうばぐるまのなかをかたづけ、
「すみませんでした、ほんとうに。」

といました。あかちゃんはまたうばぐるまにのつけられて、いってしまいました。

みちこさんは、まだあかちゃんをだっこしているような手つきをしておうちへ帰ってきました。

「なにをそんなおかしな手つきしてるの。」

と、ふしぎそうな顔をしました。

「わたしね、どこかのかわいいあかちゃんをだっこしたのよ。わたしの顔を見てわらったわ。」

「ふーん。」

「あんまりかわいかったので、まだだっこしているつもりで帰ってきたのよ。お母さん、ほらおちちのにおいがしてるわ。」

といてみちこさんはむねのあたりをかきました。お母さんは、みちこさんはいい子だなと思いました。

（出典 新美南吉 「みちこさん」）

(1) みちこさんは、だれに小鳥を見せてやりましたか。文中から書きぬきましょう。

レベル6

あかちゃん

登場人物の言動を読み取ります。四行目からの「けれど、あかちゃんは、小鳥を見ないで・・・」に着目すると、みちこさんがあかちゃんに小鳥を見せたのだと分かります。

(2) みちこさんが、おばさんに「あかちゃんだいてあげましょうか。」と言ったのはなぜですか。次の1〜4の中からえらびましょう。

レベル6

- 1 あかちゃんが、うばぐるまからおりたそうにして、なっていたから。
- 2 あかちゃんが荷物をなおすじやまをして、おばさんがごまっついていそうだったから。
- 3 おばさんのお手伝いをする時、みちこさんのお母さんにほめられるから。
- 4 みちこさんが、うばぐるまの中のあかちゃんをだっこしてみたくなくなったから。

2

登場人物の心情として適切なものを選択します。あかちゃんが荷物をかきまわしたり、じやまをしりしておばさんがごまっついていようか。おばさんを助けようと思うみちこさんの気持ち。「だいてあげましょうか。」という言葉につながります。

(3) みちこさんが、まだあかちゃんをだっこしているような手つきをしておうちへ帰ってきたのはなぜですか。みちこさんの気持ちをまとめた次の文の□にあてはまる言葉を、文中から六字で書きぬきましょう。

レベル7

さつきまでだっこしていたあかちゃんが、あんまり

□

ので、

まだあかちゃんをだっこしているつもりで帰ってきた。

かわいかった

登場人物の心情をまとめた文にあてはまる言葉を文中から書きぬきます。文中に繰り返し出てくる「かわい」という言葉からあかちゃんに対するみちこさんの心情が読み取れます。また、理由を表す、「〜から」「〜ので」という言葉に着目すると、「かわいかった(ので)」が適切であると分かります。

補足 問題文について

※会話文に続く文（例えば、「といいました。」）について、教科書では改行して表記してあり、作文等では児童にも改行して記述するように指導していることから、出典の表記を変えて問題文を作成しました。原文は次の通りです。

みちこさんが、小鳥屋のまえまでくると、知らないおばさんが、うばぐるまのなかの荷物をなおしていました。あかちゃんがのっついて、かきまわしたのです。

あかちゃんは、ぶうぶういいながら、かあちゃんのじやましていました。

みちこさんは、おばさんのそばによって、

「あかちゃんだいてあげましょうか。」といいました。

「ええありがとう、でもおいたぼうで、とっもおもいのよ。」

「いいわおばさん。」

「すみませんね。」

おばさんはあかちゃんをみちこさんにだっこさせてくれました。みちこさんのうでに、おちちくさい、白いパジャマのかわいらしいあかちゃんが、だかれました。

みちこさんは、

「ちゅちゅちゅつ、ほらほら。」と小鳥を見せてやりました。

けれど、あかちゃんは、小鳥を見ないので、みちこさんの顔を見てにっこりわらいました。それから、おててでみちこさんのネクタイをつかみました。みちこさんは、かわいい手だなと思いました。

そのうちにおばさんはすっかりうばぐるまのなかをかたづけ、

「すみませんでした、ほんとうに。」といいました。あかちゃんはまたうばぐるまのつけられて、いってしまいました。

みちこさんは、まだあかちゃんをだっこしてるような手つきをしておうちへ帰ってきました。

お母さんはみちこさんを見ると、

「なにをそんなおかしな手つきしてるの。」と、ふしぎそうな顔をしました。

「わたしね、どこかのかわいいあかちゃんをだっこしたのよ。わたしの顔を見てわらったわ。」

「ふーん。」

「あんまりかわいかったのよ、まだだっこしているつもりで帰ってきたのよ。お母さん、ほらおちちのにおいがしてるわ。」といてみちこさんはむねのあたりをかぎました。お母さんは、みちこさんはいい子だなと思いました。

（出典 新美南吉 「みちこさん」）